



すみれ 1 ぐみ ・ ・ ・ くらすだより

月主題： み一つけた

白沢

- ・ 保育者の祈りや讃美歌を通して神さまを感じる。
- ・ しぐさや言葉で思いを伝えようとする姿が増えてきている。
- ・ 葉っぱや身近な生き物を見たり触れたりして、季節を感じる。

急に涼しくなり、柿は赤く色づいて、落ち葉が舞い、秋が深まりをみせています。

さて、すみれ1組の10月の活動では、保育者と一緒に行く昼食、おやつ時のお祈りが、とてもしっかりできるようになっています。「おてて、ぱっちん、ぎゅー。」の声掛けで手を組み、「いただきます」で、お辞儀をしています。お祈りが終わるとみんな笑顔で顔を見合わせて、嬉しそうにしています。また、お友だちが楽しんでいる遊びに興味を持ち、欲しがっていた玩具を手渡しして、「うんうん」とうなずいて、やりとりを楽しむ姿もみられました。そして、散歩にも積極的に出かけ、園外の様子に触れて自然の移り変わりを感じることができました。散歩はカートに乗って出かけますが、保育士が交代で子どもたちと手を繋いで歩いています。子どもたちは、園外でのお散歩をとっても楽しんでいる様子です。

今月も子どもたちの気持ちに寄り添った保育に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



■日増しに寒くなりますが、園では薄着を心掛けています。動きやすい薄手の上着のご用意をお願いいたします。